

栃木県立
鹿沼高等学校

Tochigi Prefectural Kanuma High School



学校案内2026

School Prospectus 2026

鹿高の教育が目指すもの

スクール・ミッション

一人一人のキャリア形成を見据えた全人教育を通して、高い志を持ち、地域及び社会の発展に貢献する人物を育成する学校

スクール・ポリシー

育成を目指す資質・能力

(グラデュエーション・ポリシー)

- ・様々な問題の解決に尽力するためのリーダーシップとフォロワーシップを育成します。
- ・持続可能で豊かな社会の発展に貢献することのできる幅広い教養と確かな学力を育成します。
- ・他者と協働して物事を成し遂げられる自律的・主体的な態度、柔軟な思考力と判断力を育成します。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(カリキュラム・ポリシー)

- ・幅広い知識と教養を身に付けるために、探究的で知的好奇心を育てる質の高い授業を実施します。
- ・生徒一人一人に適したキャリア形成を見据えて、多様できめ細かなキャリア教育を実施します。
- ・自他を愛する豊かな人間性と協調性を育むため、生徒を主体とした学校行事を実施します。
- ・文武両道の実践により、知・徳・体の調和が取れ、志の高い生徒を育てる教育を実施します。

入学者の受入れに関する方針

(アドミッション・ポリシー)

- ・学習に対する能力・意欲が高く、部活動・生徒会活動・学校行事等に積極的に取り組むことができる生徒
- ・将来の夢や目標が明確で、その実現に向けて努力を継続できる生徒
- ・様々な文化や立場の人を理解しようと努め、周りと協力して課題を解決し地域社会の発展に貢献する意欲のある生徒

学校教育目標

自主自律の精神に富み、心豊かで、
郷土及び社会の発展に
貢献できる人間を育成する。

奉 努 至 校 訓
仕 力 誠 訓

学習指導

「真の学力」を養成するために



課題解決型学習プログラムの導入

本校では、総合的な探究の時間を「クリエイト」と呼んでいます。この「クリエイト」の時間を中心にして、本校独自の課題解決型学習プログラムである「クリエイティブフォーラム」を導入しています。課題の発見とその解決に向けて、主体的・対話的で深い学びの実践を図り、「思考力・判断力・表現力」の育成を目指しています。

主体的・対話的で深い学びの実現

平日の始業前・放課後、土曜日、長期休業中に生徒の主体的な学習を支援するための学習の場や学習時間を設定し、生徒・保護者への周知を行っています。本校では、始業時間前の自習時間を「ミニクリエイト」と呼び、自主的・主体的学習を励行しています。また、様々な場面で、きめの細かい学習指導を推進し、生徒の学力向上を図っています。

大学と連携したより高度な教育活動の推進

鹿高は平成27年度、白鷺大学と高大連携の協定を取り交わしました。鹿高生にとって、高校での学習では学び得ない、より専門的な水準の学習や、大学生との交流を行うことが可能になったわけです。今後、更に生徒の将来に役立つ、大学との交流活動をより幅広く、積極的に行っていきます。

大学入試制度への対応

大学入試制度や、各学年の学力の特徴に応じた柔軟な対策を素早く提示し、質の高い学習、進路指導を生徒に行っていきます。難関大学の受験に十分対応できる体制も整えられています。

これからの時代を「生きる力」を育むために、これまでの様々な実践の中で蓄積されてきた「鹿沼高校の伝統」をしっかり認識し、自信を持って引き継いでいきたいと思っています。そして、生徒たちに主体的・対話的で深い学びの場を提供することで、創立100周年を迎えた今、全職員が一丸となって、本校の更なる発展を目指していきます。



令和7年度 教育課程

1年	国語	地歴	数学	理科	保・体	芸術	英語	家庭	総合
	5	4	6	4	4	2	6	2	11
2年	文系	国語	地歴公民	数学	理科	保・体	英語	情報	総合
		6	6	6	4	3	6	2	11
	理系	国語	地歴公民	数学	理科	保・体	英語	情報	総合
		4	4	6	8	3	6	2	11
3年	文I系	国語	地歴公民	体育	芸術	英語	家庭	総合	総合
		7	9	3	2	8	3	11	11
	文II系	国語	地歴公民	数学	理科	体育	英語	総合	総合
		6	8	5	4	2	7	11	11
	理系	国語	地歴	数学	理科	体育	英語	総合	総合
		4	3	8	9	2	6	11	11



●3年間の指導計画

1年生は『大学や職業を知り進路意識を高める』とき

2年生は『何をどこで学びたいか目標を考える』とき

4月	進路指導部長講話	個人面接①
6月	教育実習生との懇談会、校外模試①	個人面接②
7月	「進路資料」を読む、夏期休業中課外	保護者懇談
8月	夏期休業中課外	
9月	進路講演会(1年対象)	個人面接③
10月	校外模試②、夢ナビライブ、職業ガイダンス(1年対象)	
11月	進路講演会(2年対象)	
12月	冬期休業中課外「アップグレードセミナー」、キャリアガイダンス(1年対象)	
1月	校外模試③	個人面接④
3月	受験報告会	

1、2年生はオープンキャンパスへの参加や職業ガイダンス、受験報告会等、進路意識を高める行事があります。また学年集会及び担任との個人面接や保護者懇談を通して徐々に進路目標を明確にして行きます。

3年生は『狙いを定めて学習に取り組む』とき

4月	進路指導部長講話	個人面接①
5月	就職希望者説明会、進路講演会	個人面接②
6月	教育実習生との懇談会、校外模試①	
7月	校外模試②、「進路資料」を読む、夏期休業中課外	三者懇談①
8月	夏期休業中課外	
9月	校外模試③	個人面接③
10月	校外模試④⑤⑥、学校推薦型選抜・総合型選抜 入試指導	
11月	校外模試⑦	
12月	共通テスト演習	三者懇談②
1月	共通テスト直前指導	

3年生は具体的に狙いを定めて学習する時期。一般選抜に向けた平日課外と土曜課外が始まります。また学校推薦型選抜や総合型選抜等、多様化する入試制度に対応できるよう学校全体で生徒をサポートし、希望進路の実現を目指します。

●過去3年間(R4~R6)の主な国公立大学および私立大学の合格数

国公立大学		私立大学	
北海道大学	1	筑波大学	7
東北大学	6	茨城大学	14
東京科学大学	2	群馬大学	6
金沢大学	2	千葉大学	5
宇都宮大学	75	大阪大学	1
埼玉大学	24	弘前大学	3
東京外国語大学	1	福島大学	16
山形大学	7	静岡大学	2
新潟大学	10	広島大学	2
信州大学	11	高崎経済大学	5
東京都立大学	5	横浜市立大学	4
		早稲田大学	7
		慶応義塾大学	2
		明治大学	26
		学習院大学	3
		立教大学	8
		青山学院大学	14
		法政大学	24
		中央大学	19
		上智大学	3
		東京理科大学	18
		東洋大学	104
		日本大学	64
		専修大学	33
		駒澤大学	27
		芝浦工業大学	19
		成蹊大学	17
		国際医療福祉大学	44
		白鷺大学	204
		自治医科大学	11
		文教大学	75
		同志社大学	1
		獨協医科大学	18

令和6年度の卒業生は国公立大学合格数93、私立大学合格数446という結果になりました。東京科学大学や筑波大学のような難関校をはじめ、地元宇都宮大学(26名)に多数の合格者ができました。

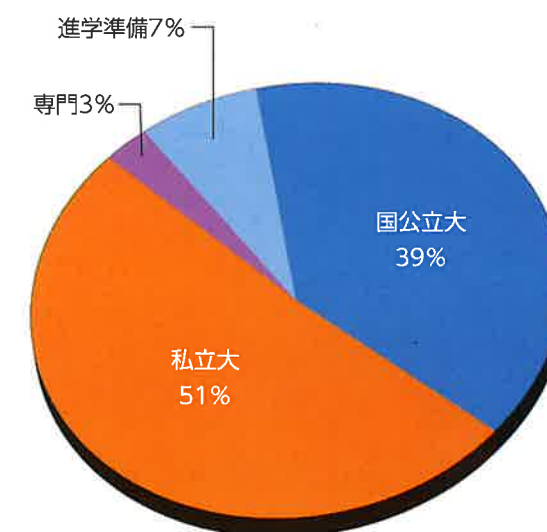
●令和6年度卒業生の進路先

鹿沼高校に入学してくる生徒の多くが大学への進学を希望しています。

中でも、毎年行われる進路希望調査によると、過半数の生徒が国公立大学への進学を希望しています。

令和6年度の卒業生は、39%の生徒が国公立大学へ進学し、51%の生徒が私立大学へ進学しました。

専門学校への進学の多くは医療系でした。



●生徒の目標は学校の目標

生徒一人ひとりが自分の夢を持っています。その夢を実現のために生徒と教員がひとつになり学校生活を送っています。進路はそれぞれ違いますが、みんなの目標はひとつです。生徒全員の進路実現が学校の目標です。

4月

入学式



5月

芸術鑑賞会
体育大会

7月

校内合唱コンクール



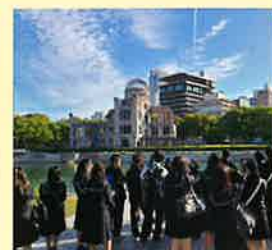
8月

鹿苑祭(文化祭)



10月

修学旅行



3月

卒業式



伝統ある名門校として文武両道を目指し、創立100周年を迎えて力強い歩みを続けています。

校内体育大会では、球技やリレーで白熱した試合が繰り広げられます。合唱コンクールでは各クラスの生徒全員が力を合わせて優勝を目指し、最大のイベント「鹿苑祭」では、文化部などによる見応えのあるパフォーマンスや工夫を凝らしたクラス展示を行います。

主な学校行事

部活動

仲間と共に自己表現

高みを目指して



鹿沼高校では、部活動、委員会活動、ボランティア活動など生徒の自主活動が盛んであり、また多彩である。運動部は12、文化部は12の団体がいずれも活発に活動し、加入率は9割程である。その他に、生徒会本部、保健委員や図書委員などの専門委員会、鹿苑祭（文化祭）実行委員会や合唱コンクール実行委員会などの特別委員会と各種委員会も充実した活動をしている。ほぼ全生徒が何らかの活動に主体的に参加をしている。

運動部



バレーボール部



ソフトテニス部



卓球部



剣道部



弓道部



陸上競技部



野球部



ダンス部



サッカー部



バスケットボール部



ホッケー部



アーチェリー部

最近の主な成績

弓道部…関東大会出場 全国大会出場 国体出場
 アーチェリー部…関東大会出場 全国大会出場 国体出場
 剣道部…関東大会出場
 ホッケー部…国体出場
 陸上競技部…関東大会出場

重点強化拠点校…弓道部（女子）
 強化推進拠点校…アーチェリー部（男子・女子）
 弓道部（男子）
 普及育成推進拠点校…ホッケー部（男子・女子）
 剣道部（女子）

多方面に好奇心旺盛な生徒たちが、更なる知的探究を行っている。数々の部が活気あふれる活動を展開し、様々な輝かしい実績を残している。文化部の充実は見張るものがある。

生徒会、委員会活動も見逃せない。鹿高の行事などはすべて生徒の自主的な活動により支えられている。その中心的な役割を担っているのが彼らである。

文化部・生徒会



サイエンス部



放送部



音楽部(合唱団)



音楽部(管弦楽団)



演劇部



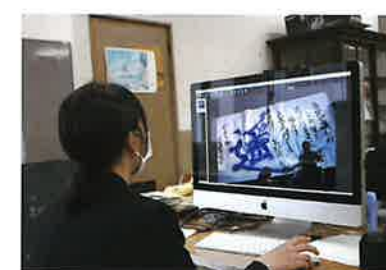
アート部



茶華道部



書道部



写真部



手芸部



囲碁将棋部



カレー研究部



ボランティア部



生徒会

最近の主な成績

放送部…全国総文祭出場
 NHK杯全国高校放送コンテスト出場
 囲碁将棋部…関東大会出場
 全国大会出場
 ビブリオバトル…全国大会出場
 英語スピーチコンテスト…関東大会出場
 音楽部(管弦楽団)…全国大会出場
 全国高校選抜オーケストラフェスタ表彰

鹿沼高校の歴史

創立100周年を迎えてさらに力強く

大正14年3月6日、高等女学校令により栃木県立鹿沼高等女学校を設置し4月1日より開校することが許可されました。3月27、28日入学試験が実施され志願者数198名、入学者は106名で2倍弱の激戦でした。4月6日鹿沼尋常高等小学校（現在の鹿沼中央小学校の校舎）を借りて授業を開始。4月20日には自立自治精神を訓練する目的で、自治会が結成され、組織は学級自治会と全校自治会とからなり運動会・学芸会・労働奉仕などを行いました。大正15年4月5日に校舎を現在地に新築移転し、様々な出来事を経て現在に至っています。

校章の制定

大正14年4月校章が制定され、外形は女子の魂を表した八稜鏡を象り、鹿沼高女の文字を象徴する橡の葉で囲んだもので、7月から着用するバンドのバックルの図案ともなりました。



昭和25年制定
真善美の理想の象徴
現在の校章である



オリーブの葉

栃木県立鹿沼高等学校

昭和23年学制改革により高等学校となり、名称が鹿沼高等学校となりました。

昭和24年高等学校再編成により鹿沼市立鹿沼女子高等学校と統合、校名を栃木県立鹿沼高等学校と改称しました。ただし、校舎は第一部、第二部に分かれて授業が行われました。また、現在も続く鹿沼新聞の創刊号もこの年に発行されました。

昭和27年2月16日現校歌（勝 承夫作詞、下總皖一作曲）が制定されました。



鹿高制服

夏服冬服共に女子の制服はセーラー、テーラーがあり生徒が自由に選択できます。
希望者は女子用スラックスも自由に選ぶことができます。



冬服



夏服

グランドデザイン 目指す生徒像

「知」「情」「意」の調和とリーダーシップと
フォロワーシップを兼ね備えた人物



●校章:橄欖(オリーブ)の三つ葉



主体的な生徒会活動

生徒主体の三大行事
(体育大会・合唱コンクール・鹿苑祭)



地域発展・高大連携

クリエイティブフォーラム（課題解決型学習プログラムの導入）各種ボランティア活動



文武両道

濃密な授業
部活動の充実



将来を見据えた進路指導

質の高いきめ細かな授業
思考力を育てる各種テスト



各種講演会

SDGsの推進
各界で活躍する先輩の講話



校訓 (生徒の行動指標)

至 誠

真心を尽くして
すべてのことに取り組む

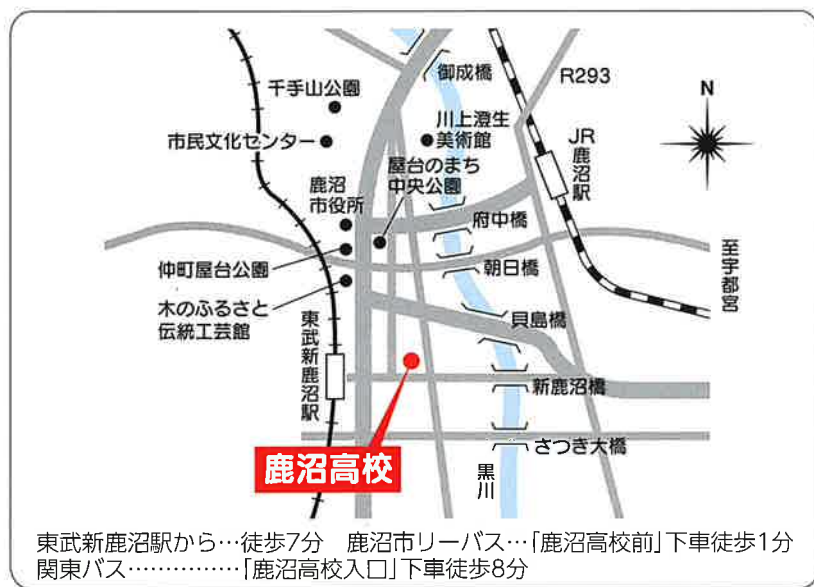
努 力

学ぶことに心を注ぎ
将来への可能性を切り拓く

奉 仕

社会の一員であることを自覚し
社会貢献の視野を持ち行動する

君の自己実現のために
鹿沼高校は全力で支援します。



ホームページ

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/kanuma/nc3/>



栃木県立鹿沼高等学校

〒322-0043 栃木県鹿沼市万町960番地

TEL.0289-62-5115(代) FAX.0289-65-7601